

当社は、1989年10月より、それまで営んできた保険代理業に加え、新たにディベロッパー事業への本格的な参入を開始しました。以来、イオン(グループ)におけるディベロッパー事業の中核企業として、日本各地で広域商圏に対応した大規模複合型ショッピングセンター(SC)の開発運営に取り組み、現在、商業ディベロッパーとして、SC総商業施設面積が国内最大級という規模にまで成長しました。2001年にはさらに3SCを開設し、13SC体制が整うこととなります。

当社が手がける大規模な商業施設は、立地選定、出店手続き、建築・工事などの開発段階から日々の運営にいたるすべてにおいて、環境問題と密接な関わりを持っています。こうした認識のもと、環境への配慮が社会的責務であると同時に、お客さまの満足度向上につながると考え、当社では、さまざまな環境保全活動を実践してまいりました。

さらに、「環境と共生する企業」「環境と共生するSC」を目指し、ISO14001(環境マネジメントシステムの国際規格)認証取得のプロセスを通じて環境マネジメントシステムの構築を進めてまいりました。2000年には、各部門で行ってきた環境保全活動を同システムのもとに取り組

む組織として環境委員会を発足。各事業本部、部門に責任者を配し、部門を横断する課題に対してはワーキンググループを設置するなど、環境保全活動を推進する体制を整え、継続的な改善活動を推進しております。

こうした取り組みを経て、2001年4月18日にはISO14001の認証を全事業所で取得しました。今後も、環境マネジメントシステムを各事業活動における基本的なマネジメントツールとして有効に活用し、さらなる環境保全活動の向上、地域社会・環境との共生を実現し、企業市民としての社会的責任を果たしてまいります。

なお、当社は2001年6月をもって、イオン興産(株)からイオンモール(株)へ社名を改めました。これを機に事業の拡充をさらに図っていくとともに、「お客さま第一」の経営理念のもと、環境・地域にきめ細かく配慮した企業活動に真摯に取り組んでまいります。



代表取締役社長

川野 義晴

目次	
ごあいさつ	1
環境方針	2
事業活動と環境との関わり	3
環境マネジメント	5
環境目的	6
環境目標	7
内部監査	12
地域コミュニケーション	13

イオンモール 経営理念

お客さま第一

- 当社は環境保全並びに社会貢献を企業活動の基軸として積極的に推進する
- 創造的ショッピングセンターの開発と運営を通して、地域社会の生活と文化の向上並びに商業の発展に貢献する
- 時代の変化に対応したリスクマネジメントとサービスの提供を図り、顧客並びに社会の発展に貢献する

環境方針

私たちは、ショッピングセンター開発・運営及び保険事業を通して環境保全・社会貢献活動を基軸とした企業活動を推進してまいりました。

当社を取り巻くさまざまな環境問題に取り組み目的・目標を定め、見直す枠組みを与え、継続的に改善する環境マネジメントシステムを構築し、全てのお客さまにさらにご信頼・ご支持いただける環境にやさしいショッピングセンターづくり・保険代理店業務を推進してまいります。

1. 「ゼロエミッション ショッピングセンター^{※1}」をめざし、循環型社会を構築致します。
※1 ゼロエミッション ショッピングセンターとは、経済活動から出る廃棄物を他の分野の原料として利用し、あらゆる廃棄物をゼロにする資源循環型社会をめざす考えです。
 - ① 資源のリサイクルを推進し、廃棄物の削減をめざします。
 - ② 省資源を推進します。
 - ③ 省エネルギーを推進します。
2. 環境法規制・その他の要求事項について遵守するとともに、自主基準^{※2}を制定し汚染の予防をはかる等、環境管理を積極的に推進します。
※2 自主基準とは、法律で定められている基準値より詳細・厳しい基準を当社で制定したものをいいます。
3. 環境保全型資材の購入を全部署で推進し、資源の保全に努めます。
4. 環境方針を全従業員に周知徹底するとともに、全従業員は自らができることは何かを考え・実行できる企業をめざし、環境教育を実施してまいります。
5. 環境方針を公開するとともに環境情報を交換し、お客さまや自治体の皆さまとのパートナーシップによる地域社会への貢献をめざします。

2001年8月21日

イオンモール株式会社

代表取締役社長

川野 義晴